

四谷の

千枚田だより



第 273 号



お田植感謝の夕べ

くみんなで灯そう千枚田く

六月六日(土曜日)、十九時、号砲を合図に開演。開催にあたり会長は

千枚田を守る耕作者は日々害獣被害、天候不順などに悩まされ、その苦労は並大抵ではない。大変ご苦勞様です。そして、本日参加いただいた皆さんと共々「日本の棚田百選・



つなぐ棚田遺産」にも認定された四谷の千枚田の弥栄を願い本日のイベントを心身ともに堪能していただければ幸いです。また、梅雨時にも拘わらず、初回開催以来一度も雨降らずで開催できたことも、ご参加いただいた皆さんの四谷の千枚田への愛着と熱意の賜物がお天道様に届いたものと思います。なお、このイベントは皆さんの協力金やご寄付で賄っています。そこところをご理解いただき、どうぞご遠慮なくご協力くださいと挨拶。

(翌日、協力金箱を開けたら何と：一で一万五百円参加者四百人として一人一十六円二十五銭：嘘のような本当の話)。

本日は愛知県新城設楽農林水産事務所 青山所長様、同建設課 近藤課長様から国民の財産、地域の宝を含んだ挨拶を、どなたも千枚田を守る姿勢と地域の皆さんに敬意を表したお言葉を頂戴しました。

会場では、保存会、地域住民、リーダーが一体となり、「鳥長の皮肝」をベースに丹精込めた焼肉、大はそり二杯のシシ汁、今年の秋には移住予定の「かあやん商店」の焼きそば、「棚田っ娘」自慢の五平餅も完売。何かとお世話になっている「八雲だんごの串だんご」や「ヤマサちくわのキッチンカー」山吉田の「豊田茶園」、川売 梅の里「川売梅花」も出店、大好評であった。また、ハッピーランドの「コスプレイヤー参戦」も催しに場を添えていただいた。嬉しいことに、愛知東農協はシャトルバス二台の運行(催し場から旧連谷小学校グラウンド間)と鳳来北西部役員奉仕、地域唯一の工場「神

星工業鳳来工場」社員の皆さんも四谷の千枚田保存継承・地域貢献の一環とした参加。新城設楽農林水産事務所建設課職員などのお力を頂き沿道に千五百本のロウソクの設置や点火など大変お助け頂いた。

段々田んぼの作業道(景観道)に幻想的に灯る千五百本のロウソクの光と天空を華どる二十本の打ち上げ花火、田んぼを舞い交うホテルの演出には四百人を超す参加者の誰しにも感動を与えた。

終宴に高橋孝行副会長は「この催しが地域一体となり、盛大に行われたことを喜び、村の活性に繋がれば幸いと思う」と結んだ。

翌日、早朝から地域住民、保存会は催しの成功の余韻に浸りながらセッセと片付けを行った。ご苦勞様。



児童らが植えた苗きれいに並ぶ
新城市立鳳来寺小学校の五年生八人が十五日、校区内にある四谷の千枚田で田植えを行った。

児童らは、五月晴れの青空の下、大小二枚約百平方メートルの田んぼにミネアサヒの苗を植えた。児童らは二日前に、田の土をならす「代（しろ）かき」をしており、迷うことなく素足で田んぼに入り、泥の感触を確かめながら田植えをした。田んぼには、児童らが植えた苗がきれいに並んだ。

家で田植えの手伝いをするという森くみさんは「二十五センチの間隔で植えていくのは難しい。できたお米はオムライスにして全校で食べたい」と話した。初めて体験した平賀多佳歩さんは「意外とまっすぐ植えられてよかった。収穫したらおにぎりにして食べたい」と笑顔だった。



鞍掛山麓千枚田保存会長の小山舜二さんから、お米の大切さとともに、「生き物と仲良く、体に優しい米作りをしている」と米作りの姿勢について話が合った。

白井淳子校長は「毎年小山さんのおかげで、貴重な体験ができる」と感謝し、「子どもたちにとつて、師匠であり、友達、仲間のような存在でもある」と話す。

小山さんの指導を受けての田植えは、同校統合前の旧連谷小学校の時から三十年ほど続いている。今後は、観察、草取りなどをし、稲刈り、脱穀などの作業を体験し、五平餅やおにぎりなどにして味わうという。

東日新聞五月十六日より抜粋

愛知県東三河県庁と愛知大学の連携による「四谷の千枚田の保全プロジェクト」

五月三十日、フィールドワーク①として学生九名は田の草取りに励んだほか、中腹部からの眺望を楽しんだ。参加した学生は「素晴らしい景観に感謝、他の団体などと協力しあって守りたい」と感想を述べた。

当日には愛知県江口副知事、同新城設楽振興事務所長谷川所長ほか三名、同新城設楽農林水産事務所青山所長、近藤建設課長、渡辺技師初め三名（サポート）、下江新城市市長、同鳳来総合支所山口地域課副課長、愛知・豊川用水振興協会長田理事長（元愛知県農林基盤局長）、奥三河ビジョンフォーラム田村専務理事など、大勢の参加のもと行われた。

サプライズ 元農林水産省官僚、宮崎県副知事、林野庁長官などを歴任された牧元幸司農林漁業信用基



金理事長もおいでいただいた。牧元さんと私の繋がりは令和元年「デイスカパー農山漁村（むら）の宝」で受賞。首相官邸において安倍首相から賞状を授与。安倍首相、菅官房長官、江藤農林水産大臣と棚田地域振興法施行について談話中、内閣官房内閣審議官として安倍首相のおそばにおり、私を覚えていただいて、その後、全国棚田サミットでもご一緒。親交を深めてきた。今回の出合いは愛知県江口副知事さんが昨年の十一月三日、御挨拶に千枚田を訪れた折に牧元さんとの出合いをお話したことが今回の活動参加に繋がっており、うれしい限りである。牧元さんは作業着、長靴姿で学生たちと共に田の草取りを。また、ハッタン（人力で田の草取りの八倍の能率の上がる手押し式草取り機）を悪戦苦闘で転がし、初めての体験に大変喜んでいただいた。江口副知事は何回も

何回も、背広姿で参加したことに悪かった、申し訳ない」と江口さんらしい一面を垣間見た。そして、牧元さんとは今秋浜松市で開催のサミットでの再会をお約束した。

今回の活動を鑑みて、「四谷の千枚田」を地域の宝と位置づけ三十六年「継続は力なり」を主眼に地道に歩んできたことが何となく報われた思いを、心の中に刻んだ。

環境整備

三十日、保存会は来週の「灯そう千枚田」を視野に会場周辺を中心に草刈り作業を行った。この、環境整備活動には全国の棚田の生き字引中島峰広棚田博士のお孫さん「南くん（関東農政局技官）」もボランティア参加、「ごくろう」には定番「鳥長の皮肝」を珍し気に堪能。六月六日開催の「お田植え感謝の夕べ」には友人と参加を約束。

田の草取り&テレビ出演

六月四日、豊橋調理製菓専門学校（十六名）は四谷の千枚田の圃場で五月七日に田植した田んぼの草取りを行った。学生たちがセッセと田の草取りをしている最中、ウド鈴木とお笑いコンビ「キカイソーン」を結成した天野ひろゆきが絶世の美女と撮影に訪れた。思わぬハプニングに学生たちは「キカイソーン」と大慌て、テレビ初出演の楽しい思い出も作ってしまった。

行 令和八年六月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二